

クリックセーフ導入による腹膜炎発症状況に関する調査のお知らせ

この研究に関する科学的・倫理的妥当性については、当院の「臨床研究審査委員会」で審議され、その実施については病院長より許可を得ています。この研究の実施期間は、2024年5月13日～11月15日までを予定しています。

【研究の対象・期間・内容】

腹膜透析の接続には、機器を用いる方法(つなぐ、むきんエース、クリーンフラッシュ使用)と手動で行う方法(クリックセーフ使用)があります。以前は、機器を用いる方法のみでしたが、2019年12月より、手動で行うクリックセーフを導入しました。

当院ではこの度、機器を用いる方法と手動で行う方法で、腹膜炎発症状況の背景に差異があるのかを、過去の診療録を振り返り調べることにしました。この調査で、今後患者さんに適したデバイスの選択や今後の腹膜透析導入時の指導に役立てたいと思っております。

【研究の対象】

小倉記念病院において2020年1月1日から2023年12月31日の間に、腹膜透析を導入された患者さんを対象としています。

【研究の方法及び情報の取り扱い】

ご提供いただく情報は診断名、既往歴、デバイス、年齢、性別、腹膜炎発症の有無、起炎菌、導入から腹膜炎発症までの期間、出口部感染、トンネル感染の有無などです。これらの情報は通常の診断で得られた診療記録より抽出しますので、新たに身体的および経済的負担が生じることはありません。

得られた情報は個人情報漏洩を防ぐため、氏名、住所などの個人を特定する情報を削除したうえで研究用の番号で管理し、保管されます。また、本研究の結果について、学会発表や論文掲載などを行う際は、個人が特定できる情報が含まれないようにしたうえで、公表します。

【利益相反について】

この研究は、特定の研究者や企業の利益のために行うものではありません。また、この研究により患者さんの利益(効果や安全性など)が損なわれることもありません。

【連絡・問い合わせ先】

この研究や個人情報の取り扱いに関するご質問やご相談などありましたら、下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、ご希望があれば、ほかの研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので、お申し出ください。

なお、対象となる患者さん以外がこの研究に用いられることについて患者さん(及び患者さんの代理人)にご了承いただけない場合には、研究対象としませんのでお申し出ください。その場合でも、診療上の不利益が生じることはありません。

小倉記念病院 腎臓内科 担当者 星野佑輔 田口梨紗 島崎美緒
〒802-8555 北九州市小倉北区浅野 3-2-1
電話番号 093-511-2000(代表)

